

第8回安曇野市地域福祉計画推進・策定委員会 会議概要

1	審議会名	第8回安曇野市地域福祉計画推進・策定委員会
2	日 時	令和6年2月1日 午後1時30分から午後2時45分まで
3	会 場	安曇野市役所 4階 大会議室
4	出席者	尻無浜会長、山崎（徳）副会長、深井委員、池田委員、草間委員、八田委員、小澤委員、酒井委員、依田委員、西澤委員、青柳委員、小木曾委員、藤松委員 <事務局> 安曇野市社会福祉協議会 地域福祉課 大澤課長、宮澤主幹係長、稲越まちづくり担当係長
5	市側出席者	上條課長、丸田係長、水野主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人 2 人	記者 0 人
8	会議概要作成年月日	令和6年2月 日
協 議 事 項 等		
1	開 会（進行：上條課長）	
2	会長あいさつ（尻無浜会長）	<p>本日が最後の委員会になります。おかげさまで予定どおりここまで進めることが出来ました。第4期安曇野市地域福祉計画を、令和6年4月から実施していこうと議論を集中して行ってきました。</p> <p>地域福祉計画は、行政計画の一つですが、義務規定ではなく2018年の社会福祉法の改定により努力義務規定とされました。策定は非常に難しいものであり、行政計画でありながら市民の意見を取り込む必要があるため、義務規定にはできていません。安曇野市の地域福祉計画は、第2期で市と社協が一体となって取り組み、第3期では一緒になって実施し、83区を意識して取り組んできました。</p> <p>本日は、最終的な確認とここだけは議論したい等ありましたら、各委員から出していただければと思います。</p>
3	協議事項	<p>(1) パブリックコメントの報告について (水野主査) 資料に基づき説明。</p> <p>(尻無浜会長) パブリックコメントのご指摘は、実施主体の区、地区公民館や自主防災組織などの事業は、市の関係部局が関わりあいながら実施していく必要があるという趣旨になります。 市の関係部局が関わる部分を見直したこと、支え合いマップはご指摘のとおり関係部局を追加したこと、計画への姿勢を記載して対応することの説明がありました。 市としての考え方や対応について、ご意見をお願いします。</p>

(山崎(徳)副会長)

支え合いマップの更新が非常に難しいので、サポートをお願いしたいと思います。

(丸田係長)

前回の委員会でご指摘をいただき、更新の部分を削除しましたが、各区で更新についてのご意見をいただいているので、社協と協力して更新の相談に乗って、負担の少ない形での更新の方法を検討していきます。

(宮澤主幹係長)

社協でも支え合いマップの更新が、非常に重要であると認識していますので、全区で更新できるよう力を入れていきます。

(尻無浜会長)

計画上の記述は作成で留めておきますが、実際の取組としては実地していくことに留意していきます。

(2) 第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画について

(水野主査) 資料に基づき説明。

(尻無浜会長)

各委員からご意見・ご指摘などをお願いします。

(深井委員)

8回の委員会を重ねて、色々な意見を反映したとても良い計画が出来たと思います。

なお、市担当課が空欄となっていることで、市は事業をやらないのかと感ずるので、市担当課と主に事業を推進する実施主体の役割の説明があっても良いと思います。

前回の計画より文字数が多くなっているので、ぱっと目を引くポイントなどの力を入れている箇所が判ると良いと思います。

(尻無浜会長)

概要版の作成はありますか。ポイントがまとまっていればなお良いと思います。

(水野主査)

概要版を作成し、施策体系を中心にポイントをまとめたものにする予定です。

(池田委員)

現状と課題を踏まえながら、地域の住民として、どういう課題に取り組みながら具体的に進めたら良いのか考えてきました。今後は、区を中心に地域住民がどのような具体策に取り組んでいくのが主体になっていくと感じています。

NPO法人として、住み慣れた地域で安心して暮らしたい、生きたいという願いを実現するために、地域住民と学び、理解し、何が実践できるかということに取り組む段階になっています。

皆様の討論を通して良い計画になったと思います。

(草間委員)

計画は、介護保険や障がいなど色々な計画と共に、どこにどう取り組んでいくのか、ぶれないように連携を図りながら作られているように感じています。

計画に基づいて実践するために、それぞれが工夫しながら進めていければと思います。

(八田委員)

第3期の評価を行った結果が現状と課題に反映され、この計画が成り立っていると感じています。

目標が数値化されていて、自分が感じている現状値とずれていないため、非常に良いと思いますし、目標値がすごく離れた数値ではないので、市民に本気で取り組もうと思ってもらえれば、頑張って達成できると思います。手の届きそうな目標がありがたいと思います。

(尻無浜会長)

本計画では、計画を推進していくために目標値を設定しました。高い数値目標を設定していますが、数値目標を上げていくだけでなく、現状維持をしていく事も必要になります。

(小澤委員)

主たる事業所では介護保険サービスを担当していますが、在宅で生活していくには地域福祉が整っていることが必要なので、地域福祉をどれだけ実践していけるかに目を向けています。

区や他の事業所など、実施主体同士の連携が大事になるので、計画を基に事業所で実施していきたいと思います。

(酒井委員)

委員会に出席して、地域福祉の大切さについて改めて考えさせられました。

私は、保護者支援として悩みを聞いていますが、子育ては横のつながりが大事になります。保護者支援には、子育ての大変さや周辺地域の関係性があるので、計画に基づいて地域福祉を推進しないといけないことを伝えていきます。また、現実的に計画を推進するには、実施主体のリーダーをしっかりと育てて、下に広めていく事が大事なので、市も社協も研修等を実施して、リーダーなどの広めていく人へ周知していただければと思います。

(依田委員)

地域福祉は、子ども、高齢者、犯罪被害や多文化共生など色々な分野にまたがっていて、生活に密着しています。関係する分野が広いため、市民が読み込むのも理解するのも大変で、必要になるまで調べないと思います。他人事にせず我が事として捉えてもらう必要がありますが、市民としては受け手としか捉えず、「何をやってもらえるのか」としか考えてもらえないので、地域福祉は受け手にも支え手にもなることを理解してもらい、共有していく必要があります。

今、市民としては防災に関して気になっている人が多いと思うので、ピンポイントで周知することで、率先して市民を巻き込むことができれば、それが地域福祉につながると思います。

また、複数の課題にまたがる問題の対応が難しいと感じています。どこに聞けばよいか判らない人も多いので、取りこぼさない計画や支援が出来ればと思います。

(尻無浜会長)

計画には、防災に関して平時と災害時は記載されていますが、復興時のものではありません。今回の能登半島地震の関係で、復興時の取組みが明らかになるかもしれません。今後、復興時の取組みは、計画に取り込んでアップデートしていかなければなりません。

(西澤委員)

幼児教育を研究していますが、子どもを地域で支えて育てれば良いと考えていますので、幼児教育に力を入れてもらえれば、愛着を持って大人になって安曇野市に戻ってくると思います。

また、地域づくりを推進していくために、現場の意見を吸い上げて反映していかないと、地域づくりは足踏みをすることになります。

コロナの影響で世の中が変わりましたので、ゼロベースで計画を考えていかないと推進できないこともあると思います。

(青柳委員)

困りごとの相談について、アンケート結果では、相談先として民生児童委員の回答が殆どないのですが、常日頃訪問して相談を受けています。

計画が策定されたら、民生児童委員の全員に読み込んでもらい、相談に対応できるようにしていきます。

(尻無浜会長)

民生児童委員活動があることで、地域福祉は成り立っていることが研究・論文で示されています。民生児童委員への計画の説明は、コンパクトなものがあれば良いと思います。

(小木曾委員)

昨年、三郷地区では避難所開設訓練を実施しました。能登半島地震のような災害が安曇野市で発生した際には、実践できることがあると考えています。

計画を活用して、地域の防災にも役立てていきたいと思っています。

(藤松委員)

公民館の使命は地域づくりで、地域の担い手を育成することになります。地域づくりは何かと問われた場合、実は計画の中に答えが散りばめられていて、何をしたら良いのか判断するガイドになっていると思います。地区公民館が担っている地域の実情に沿って、事業を選択して実施することができるので、地区公民館にも計画の内容を周知していきたいと思います。

また、計画の目標は、地区、地域住民と行政などがつながって推進していくものになっているので、計画は内容を表すだけでなく、つながることのガイドにもなっていると思います。

計画を作って終わりではなく、これからがスタートであり、周知していく事が必要ですが、まずは当事者づくりが必要だと考えています。

(山崎(徳)副会長)

明科は高齢化が進んでいるので、顔の見える付き合いをしていないと、見たことが無い人に避難してくださいと言われても、気持ちが引いてしまい避難できなくなります。そのため、組長などを通じた、顔つなぎの必要があると思います。

(尻無浜会長)

本日の意見を踏まえて、計画に反映し完成することになります。

(3) 計画の進捗管理について

(水野主査) 資料に基づき説明。

(尻無浜会長)

委員会として、計画策定は今回までになりますが、今後は年度ごとに1回以上開催して進捗管理を行っていきます。所属の関係などもあります。年度ごとに1回は通知が行きますので、委員の皆様にはご負担をかけてしまいますが、進捗管理にもご協力をお願いします。

第3期では進捗管理ができなかったもので、第4期では取り組んでいければと思います。

(意見無し)

(水野主査)

今後の予定について、2月中に成案を目指し、3月に印刷製本を目指します。4月には配布を行います。

4 福祉部長あいさつ

(甕部長)

本日も貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

第4期の計画策定にあたりまして、令和4年7月から約1年半の合計8回の委員会にご出席いただき、また、熱心にご審議いただき深く感謝申し上げます。

福祉分野にとどまらず、地域づくり分野やほかの分野との連携が必要になります。内容も多岐にわたり、資料も膨大で読み解くだけでも大変ご負担をお掛けしたかと思いますが、貴重なご意見をいただき実のある計画策定につながったと思います。本日の協議結果に基づき計画を修正し、3月までには公表し、4月に周知する予定で進めます。

本日の委員会で策定は一区切りになりますが、令和6年度からは計画を推進することになります。これからがスタートになると思いますので、計画の内容を周知し、どれだけ実現できたか進捗管理をして確認していきます。

進捗管理は本委員会を中心に行っていただきたいと思いますので、委員の改選はありますが、引き続き地域福祉の向上にお力添えをいただければ幸いです。

福祉部では、地域福祉計画の他に、高齢者福祉計画、介護保険事業計画、障害者基本計画を3月に同時策定することになります。公表も併せて行いますので、こちらの計画もお目通しいただければ幸いです。

(上條課長)

委員の皆様へ感謝申し上げます。

引き続き進捗管理のご協力をお願いします。

(山崎(徳)副会長)

ようやく計画がスタートしますので、皆様のご協力をお願いします。

民生児童委員などの、常日頃から相談を受けるような顔の見える関係が一番大事だと思います。

本日はご苦勞様でした。

5 閉会